

会 議 録

会議の名称		第47回 春日部市地域公共交通活性化協議会	
開催日時		開 会	午後1時30分
		閉 会	午後2時30分
開催場所		春日部市役所本庁舎2階201会議室	
議長(会長等)氏名		会長 久保田 尚	
出席者	委員氏名	(出席人数：15人) 久保田 尚、青木 保、村上 景太、中山 俊夫、西野 利彦、今村 純雄、藤田 直樹、池上 和成、藤田 貢、関根 肇、飯塚 光弘、大河原 健一、落合 八千代、波多野 康治、渡辺 隆之	
	説明者 その他		
	事務局	(出席人数5人) 都市整備部次長兼都市計画課長 福井 聖士、都市計画課交通計画担当主幹 中崎 昌徳、都市計画課交通計画担当主査 大野 弘久、都市計画課交通計画担当主任 千葉 陽介、都市計画課交通計画担当主事 豊見山 由季	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		議 事 審議事項 ○路線バスと春バスの乗り継ぎ割引について 報告事項 ○庄和地域のタクシー車両活用実証実験（春タク）について ○春バスラッピングコンクール及び音声案内について 以上、すべて公開	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		次第、委員名簿、席次表、協議会資料	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		議長及び議長が指名した委員1名が署名するものとする。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
<p data-bbox="164 1240 392 1279">関 根 委 員</p> <p data-bbox="164 1339 392 1377">事 務 局</p> <p data-bbox="164 1529 392 1568">藤 田 委 員</p> <p data-bbox="164 1865 392 1904">議 長</p>	<p data-bbox="432 143 1453 322">・割引相当額の扱いについて、春バスから朝日バスへの乗り継ぎ分は市から朝日自動車へ補助金として支払うこととしており、朝日バスから春バスへの乗り継ぎ分は、その相当額を運行経費として市から朝日自動車へ支払うこととなる。</p> <p data-bbox="432 383 1453 517">・試験導入とした目的は、主に乗務員が乗り継ぎ券を発行するという利用方法を検証し、課題を整理することや、乗り継ぎ利用の需要を把握すること、バスの乗り継ぎ利用の周知、促進を図るためである。</p> <p data-bbox="432 577 1453 712">・制度の開始から現在までの利用実績は朝日バスから春バスへの乗り継ぎよりも、春バスから朝日バスへの乗り継ぎが圧倒的に多く、令和5年度は令和4年度に比べて利用回数が増加している。</p> <p data-bbox="432 772 1453 952">・第四次春バス運行では春バスの路線を、朝日バス路線との競合をできるだけ避けるように設定したことや、集約したことによって春バスと路線バスを乗り継がなければ行くことが出来なくなった場所も多いため、今後乗り継ぎの需要は高まっていくことが想定される。</p> <p data-bbox="432 1012 1453 1146">・以上のことから、春バスと朝日バスの乗り継ぎ割引制度について、今までの試験導入の結果を踏まえ、今年度の4月から正式な制度として導入していきたいと考えている。</p> <p data-bbox="432 1207 608 1245">〔質疑応答〕</p> <p data-bbox="432 1245 1442 1283">乗り継ぎ割引を行うにあたり、何か課題として出てきたものはあるか。</p> <p data-bbox="432 1344 1453 1478">朝日自動車からは特にうかがっていない。 しかし、乗務員の負担となるため、配布方法等を改善していきたいと考えている。</p> <p data-bbox="432 1538 1453 1807">(朝日自動車として関根委員からの質問に補足) 運転手が紙の割引券に日付を書いて乗客に渡すという形で、現時点では問題なく運用出来ており、正式導入についても問題ない。 ただ、今後利用者が増えていくと、乗り換え駅などで降りるお客さんを待たせてしまう可能性があるため、継続して配布方法の改良を検討していく必要があると考えている。</p> <p data-bbox="432 1868 1453 1951">このことについて、今年度の4月から正式導入することを協議会として承認してよいか。</p> <p data-bbox="432 2011 671 2049">(一同異議なし)</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事 務 局	<p>報告事項 庄和地域のタクシー車両活用実証実験（春タク）について</p> <p>（庄和地域のタクシー車両活用実証実験について事務局より資料 2 を用いて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四次春バス運行のルート再編により、庄和地域の交通空白地域が広がるため、その地域に居住する自身で車を運転することが難しいと思われる 75 歳以上の高齢者や妊産婦の移動手段を確保する目的で、今年の 1 月 4 日からタクシー運賃の一部を補助する実証実験を開始した。 ・運行開始に先立ち、昨年 12 月 1 日から利用登録の受付を行った。令和 6 年 1 月 19 日現在、268 件の申請があり、要件を満たした 233 名に利用登録証を交付している。年齢別の登録者数では、80～84 歳代が最も多くなっており、性別では、女性の登録者数が男性の約 2 倍となっていることから、運転免許の保有や、返納が関係していると推察している。 ・地区別の登録者数は、圧倒的に庄和地域の南部が多く、次いで中部となり、北部はほとんど登録者がいない。これは、北部地域には農家世帯が多く自家用車での移動が多いからであり、登録者の多い南部地域においても、農家世帯が多いと思われる永沼、水角、飯沼、赤崎あたりの登録者数が少ないことから、地区別に見ても自家用車の利用や、運転免許の保有が関係しているものと推察できる。 ・1 月の利用実績はまだ報告できないため、今後の協議会で報告する。
事 務 局	<p>報告事項 春バスラッピングコンクール及び音声案内について</p> <p>（春バスラッピングコンクール及び音声案内について事務局より資料 3 を用いて説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四次春バス運行の開始に伴い、クレヨンしんちゃんのラッピングバスのデザインをリニューアルするため、子どもたちからデザインのアイデアを募集する「春バスラッピングコンクール」を実施した。 ・コンクールには 334 作品の応募があり、最終選考の対象となった入賞 30 作品の中から、最優秀賞 1 作品、優秀賞 2 作品が選ばれ、この 3 作品をもとに新たなラッピングデザインを作成した。1 月 14 日には入賞者 30 名を対象に表彰式を開催し、各賞の受賞者の表彰を行った。 ・最優秀賞作品をもとにデザインされたバスは今年の 1 月 15 日から運行を開始している。優秀賞 2 作品をもとにデザインされたバスは、それぞれ令和 6 年度、令和 7 年度に順次運行を開始する予定となっている。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
<p>今 村 委 員</p> <p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・応募作品はコンクールにご協力いただいた商業施設にて展示する。 ・第四次春バス運行の開始に合わせて、春バスの音声案内の一部に「クレヨンしんちゃん」に登場する「野原しんのすけ」の声をを使用した音声案内を行っている、春日部市役所や春日部駅などの主要バス停の案内や、乗車中の注意喚起、乗り継ぎの案内等、全 21 種類の音声を使用されている。 ・今後も春バスを PR し、利用促進を図る。 <p>[質疑応答]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春タクの利用登録について、自治会役員だがお知らせが来なかった。どのような方法で受け付けていたのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・広報で周知、自治会を対象に説明会を実施、各自治会の対象者あてに自治会内で回覧を行い、申請書の配布や電子申請の受付を行った。 ・今回の実証実験で申請受付対象となるのが、75 歳以上または妊産婦の方で、鉄道駅から 800 メートルかつバス停から 300 メートル以上離れた所に住む方となり、対象者全員にチラシを送付することが難しかったため、自治会の方に回覧をお願いする形をとった。 <p>必要なところに情報を行き届かせるため、再度周知を行う。</p> <p>以上で、3 件の審議・報告事項が終了。</p> <p>3 閉 会 閉会宣言 －散会－</p>

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年2月20日

議事録署名人氏名

議 長 久保田 尚（原本は自署）

議事録署名人 中山 俊夫（原本は自署）